

芸術 科 学 習 計 画 表

科 目	単 位 数	学 科	コ ー ス	教 科 書
書道 I	1	普通科	2 年 ビジネスコース	書道 I (教育図書) 補助教材等【ペン習字の基本】
年 間 到 達 目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・書の古典に触れることによって、個性豊かな表現力を養う。 ・篆刻によって、刻印の楽しさを学ぶ。 ・紙面の大きさを変えることによって、より高い構成力や表現力を養う。 ・小筆、ペン習字の学習によって、日常生活に必要な書写力を養う。 				

月	教科書の単元・章・項補助教材等	学 習 内 容 及 び 到 達 目 標	評 価 方 法	評 価 の 観 点
4 月	漢字の学習 ・ 隸書の基本(ビデオ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隸書の基本的な用筆と生活への応用を学ぶ。 ・ 隸書の運筆の技法を少しでも修得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加態度 ・ 清書提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隸書の特徴である波勢のリズムを理解できたか。 ・ 隸書のデザイン性に気付くことができたか
5 月	・ 篆書の基本(ビデオ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 篆書の成立と時代背景を理解する。 ・ 甲骨文、金文、小篆、帛書等を紹介し字形、線質の特徴の違いを理解する。 ・ 篆書の運筆の技法を少しでも修得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加態度 ・ 清書提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 篆書の成立と時代背景を理解する。 ・ 甲骨文、金文、小篆、帛書等の字形、線質の特徴の違いを理解できたか。 ・ 技法を習得できたか。
6 月	篆 刻 ・ 落款と雅印	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の名前を刻印する ・ 落款の意味を理解すると共に、刻印の楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加態度 ・ 提 出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落款の意味が理解できたか。また、刻印を楽しめたか。
7 月	ペン習字の学習 ・ 草書の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行書より流動美で、個性的な線美を持つ草書に親しみ、ある程度読んだり書いたりできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加態度 ・ 清書提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲線の動きに捕らわれて、字形を見失ったりしないか。
9 月 10 月	作品制作学習 ・ 1 年次には、唐代の楷書を臨書している。2 年で隸書・篆書・草書も学習した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 篆書、隸書、行書等の古典を臨書するか、または漢字仮名交じりの書から選択して全体構成を考えて制作する。 ・ 高校生としては、かなり高い内容を要求してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加態度 ・ 清書提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の力量に応じた努力がなされているか。 ・ 全体構成をしっかりと考えた、統一感のある表現が成されているか。
11 月	・ 書道 I のまとめ 北魏の造像記の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年で学習した唐代の楷書と比較し、文字の変遷に注目する。 ・ 自分の好きな詩文、語句を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40×35 の方形の紙面に今まで、学習したことを出し切って制作できたか。

月	教科書の単元・章・項補助教材等	学習内容及び到達目標	評価方法	評価の観点
12月	・書道 I のまとめ 風信帖の学習	・書道辞典を活用して、書体、書風を調べる。 ・用紙に鉛筆で全体の構成を考える。 ・自らの技法を駆使して表現する。	・清書提出	・筆者の思いが作品の中 に感じられるか。 ・感性は育ったのか。
1月 2月 3月	暮らしに生かす書 ・実用文字の学習 ・小筆、ペン字	・書と日常生活の関連について知る。 ・小筆による書を慶事、弔事に必要な表書きに役立てることができるようにする。 ・ペン字を履歴書書きに役立てるようにする。	・授業への参加態度	・学習してきたことを生かして、実用的文字を美しく表現できたか。